

子育てひとくちメモ17, 「子どもの成長と勇気づけ」

—児童期の特徴と勇気づけ1—

友だちができたなら児童期です。親が手を貸さないでも自分たちだけで遊べるようになったら児童期です。5歳くらいからです。こうなると、親の役割は激減します。ある心理学者の家では小学校の入学祝いは目覚まし時計でした。「小学校入学おめでとう。幼稚園の間は自分で起きちゃいけなかったけど、今日からは自分で起きていいんだよ」と言ってあげると、子どもはワイイと喜んで、自分で起きて学校に行きました。「学校に行きなさい」と一度も起こしたことはない。遅刻はありましたが、それは子どもの問題であって、親の問題ではないので起こしませんでした。どうしても起きなければならないときは、「あした起こしてもらえない？」と頼んできました。これは冷たいようですが、将来、「責任」ある人になるためにとても重要な態度です。学校へ行くとか、宿題をするとか、あるいは、お風呂に入るとか、何時に寝るとか、徐々に子どもたちの自主管理に任せていくほうが、子どもたちを勇気のある大人にできます。

(つづく)

(津山工業高校スクールカウンセラー・大森 浩)